

2018年度 第1回日本カプセル内視鏡学会 代議員会 議事録

日時：2018年2月11日（日）12:30～13:00

会場：京王プラザホテル 南館5階「エミネンスホール」

最初に、議長である田尻理事長より代議員総数102名のうち、出席者68名、委任状提出者23名であることが報告され、出席者が過半数に達しているので本会議が成立することが確認された。

また、緒方晴彦先生と斎藤豊先生が本会議の議事録署名人として選出され承認された。

<はじめに>

JGA（第14回）/JACE（第11回）/JFSS（第50回）合同学術集会（JGW）について

第11回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長である樋口理事より、開催の報告があった。

<審議事項>

1. 財務委員会：

1) 平成29（2017）年度（2016年12月～2017年11月）決算報告

加藤理事より平成29（2017）年度の決算報告が代議員会資料に基づいて報告された。

榊監事より、監査の結果、適正な会計処理が行われたと報告があり、承認可決された。

2) 平成30（2018）年度（2017年12月～2018年11月）予算案

加藤理事より平成30（2018）年度の予算案について、代議員会資料に基づいて説明があり、承認可決された。

3) ColoCam-J Study データ統計解析会社の選定について

加藤理事より、ColoCam-J Study データ統計解析会社についてステラ社とヴィコフ社の2社に相見積りを取った結果、価格と実績および解析精度が良さから理事会でヴィコフ社に承認された報告があり、承認可決された。

2. 規約委員会

定款および細則の変更

1) 委員会委員の任期について

篠村理事より、定款細則の「第9章 委員会」に委員会の任期について、新たに「第26条 委員長及び委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、それぞれ通算6年を超えることができない。」を追加することが説明された。

2) 名誉会員・功労会員の選任について

篠村理事より、定款の変更で「名誉会員」と「功労会員」を追加する説明があった。

定款の第5条に「3 名誉会員（この法人の理事、監事、学術集会会長を務め、かつ、この法人に尽力した者で定年に達した者）」および「4 功労会員（この法人に対し特に功労のある代議員で定年に達した者）」の項目を追加することが説明された。

また、監事の定年規定がなかったため、定款の第22条に理事と同様に監事も満68歳であることを追加したことが説明された。

以上の定款および定款細則の変更について、承認可決された。

3. 人事委員会

1) 名誉会員

田尻理事長より、定年に伴い、以下の役員計6名の名誉会員への推薦があり理事会で承認されたことが報告され、異議なく全員が承認可決された。

- ・日比 紀文 先生（監事）
- ・榊 信廣 先生（監事）
- ・坂本 長逸 先生（理事）
- ・篠村 恭久 先生（理事）
- ・春間 賢 先生（理事）
- ・荒川 哲男 先生（理事）

2) 新役員（新理事、新監事）

田尻理事長より、以下の新役員について理事会で承認されたことが報告され、異議なく全員が承認可決された。

- ・新監事 高橋 信一 先生
- ・新監事 加藤 元嗣 先生
- ・新理事 内藤 裕二 先生
- ・新理事 藤森 俊二 先生
- ・新理事 斎藤 豊 先生
- ・新理事 江崎 幹宏 先生

3) 各委員会委員長の交代（案）

田尻理事長より、以下の新委員長について理事会で承認されたことが報告され、異議なく全員が承認可決された。

- ① 総務委員会：中村理事
- ② 人事委員会：松本理事
- ③ 財務委員会：加藤理事
- ④ 規約委員会：田中理事
- ⑤ 情報委員会：緒方理事
- ⑥ 学術委員会（J-POP委員会）：責任者 渡辺憲治先生
- ⑦ 国際交流委員会：斎藤理事
- ⑧ アトラス作成委員会：山本理事

4. その他

田尻理事長より、2017年8月1日より日本カプセル内視鏡学会事務局が、株式会社コンパスから株式会社プランニングウィルへ変更したことが報告された。

<報告事項>

1. 各委員会報告

1) 総務委員会

① JACE 会員状況

高橋理事より、現在の会員数が1,942名であることが報告された。

② e-ラーニング利用状況

高橋理事より、小腸および大腸のe-ラーニングの利用状況について、年間収支が262,900円赤字になっていることが報告された。

2) 認定制度委員会

認定制度規則の一部改訂について

福田理事より日本カプセル内視鏡学会の指導施設に勤務されていないと認定の申請が出来なかったが、申請数を増加するために認定制度規則の一部を改訂理事会で承認されたことが報告され、今年の申請から適用したいことを提案され承認可決された。

改定内容としては、以下の通りである。

1) 指導施設において3年以上研修

→ 指導施設またはこれに準ずる診療施設（日本消化器内視鏡学会認定の指導施設）において3年以上研修

2) 指導施設長の研修証明書

→ 所属施設長の研修証明書

3) 指導医推薦書

→ 日本カプセル内視鏡学会認定の指導医（他診療施設の指導医でも可）の推薦書

3) 認定技師委員会

① 認定承認状況

中村理事より、認定状況について報告があった。

2014年に第1回の小腸CE読影支援技師の認定者211名うち、資格維持の困難等により11名が退会したことが報告された。

② 読影支援技師認定制度規則の一部改訂について

中村理事より、読影支援技師制度規則の「小腸CE読影支援技師 資格更新」について、正当な理由で資格の更新ができない旨を理事長に届けた場合、認定技師制度委員会の議を経て2年間まで更新の保留ができることを追加されたことが報告された。

③ 症例数の変更について

中村理事より、大腸 CE 読影支援技師の実施症例数が多いので、10 症例から 5 症例へ変更し、申請書類の実績証明書の文言も変更したことが報告された。

以上の変更について、承認可決された。

4) 学術委員会

① 「大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究」
推奨レジメンについて

大宮理事より、「大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究 (ColoCam-J)」が現在進行中であることが報告された。

その中でも、エントリーの多い増子記念病院、京都九条病院、名古屋大学医学部附属病院、藤田保健衛生大学病院の 4 施設にてヒマシ油を使用あり、なしで比較検討し、大腸ポリープ推奨レジメンを作成したことを報告された。

第 11 回日本カプセル内視鏡学会学術集会のスポンサーセミナーで詳細を説明することも報告された。

潰瘍性大腸炎についても緒方理事、細江直樹先生により推奨レジメンを作成したことが報告された。

ColoCam-J のエントリーが現在 538 例まで進んでおり、目標は 1,000 例であること。

今年の秋に厚労省健康局の省内要望を上げてもらうために中間解析を行い、データを提出したいことが報告された。

また、学会ホームページにて JACE の推奨レジメンとして掲載することが報告された。

② データベース作成委員会

大宮理事より、代議員会資料に基づいて坂本理事が作られた原因不明の小腸出血を対象にした全国のデータベースがあり、一番症例数の多い、東京大学、名古屋居大学、藤田保健衛生大学、日本医科大学にてそれぞれ論文化している報告があった。

東京大学からはすでに 2 論文発刊済みであるが、昨年末にケースクロスオーバー解析が終了したことから、第 11 回日本カプセル内視鏡学会学術集会のスポンサーシンポジウムにて坂本理事より報告があると報告があった。

大宮理事が Washington DC で行われる今年の DDW2018 で発表予定であることが報告された。

現在、英語論文を作成中で、全体のデータベース結果を藤森理事がまとめることが報告された。

5) 情報委員会

① ニュースレター Vol. 13 (2018年1月31日発行) について

田尻理事長より、ニュースレター Vol. 13 が1月31日に発行され、全会員に郵送されたことが報告された。

② ニュースレター Vol. 14 について

ニュースレター Vol. 14 については、情報委員会新委員長の緒方理事のもとで作業に取り掛かる予定であることが報告された。

6) アトラス委員会、用語小委員会

① 大腸カプセル内視鏡を用いた潰瘍性大腸炎内視鏡画像アトラスについて

中村理事より、大腸カプセル内視鏡を用いた潰瘍性大腸炎内視鏡画像アトラスが3月に刊行されることが報告された。

緒方理事より、アトラス刊行についてはコストが発生するものではないので、無償でJACE 会員に配布できることが報告された。

② カプセル内視鏡用語の日本語化について

中村理事より、Rapid が現在、すべて英語なので日本語化へ取りまとめて完了したことが報告された。

日本内視鏡学会の用語委員会と整合性の確認を取り、次回のRapid を日本語化する方向で進められていることが報告された。

7) 保険委員会

内保連について

樋口理事より、内保連に大腸カプセル内視鏡の適用拡大を申請し、消化器系の学会から第一の推薦で提出したが、今回は見送りになったことが報告された。

次回、ColoCam-J の解析データにて申請を行うことが報告された。

8) 読影トレーニング委員会

中村理事より、初学者向けの小腸セミナー (定員 50 名)、大腸セミナー (50 名) を年 2 回開催しているとの説明があった。

大腸セミナーについて、今まで開催時期を 1 月から 2 月で行っていたが、参加者が少ないため夏から秋へ日程を変更することが報告された。

現在のセミナー受講料がレンタルパソコン代を含めて 8,000 円であるが、参加人数が少ないため、今後、10,000 円に値上げすることが報告された。

e ラーニングシステムについて、今年の秋ごろを目途に現在の Rapid が 8.3 から 9 へバージョンアップされることが報告された。

それに伴い、大腸と小腸の e ラーニングのシステムを更新する予定で進めていることが報告された。

2. JGA (第15回) /JACE (第12回) /IGICS (第12回) 合同学術集会 (JGW) について

第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長の田中理事より、2019年2月3日に佐賀にて開催される報告があった。

3. その他

なし

定刻にて田尻理事長より閉会の辞が述べられ、2018年度第1回代議員会が閉会した。

以上